

科目名 Course Name	保育実習指導 I Guidance and Evaluation Child Practice I			ナンバリング No.	K1-014		
年次	1年	期別	通年	単位数	2	授業形態	演習
担当者氏名	栗原 多恵						
連絡方法	講義棟3階研究室か、メール、C-Learning で対応する。						
必修/選択	選択(保育士養成課程必修)						
関連 DP	DP2, DP3, DP5						
授業の概要と到達目標	保育実習 I・II・IIIの、それぞれの実習内容と特徴を知り、実習に臨む際に必要な様々な準備に向けて、授業内容を基に各自が責任を持って取り組む。保育実習の意義や目的を確認しながら、さらに発展して保育士の仕事や社会的役割を学習する。						
授業の方法	前期は、実習に臨む保育学生としての態度や取り組み方など、基本的事項を学ぶ内容を中心として進める。保育実習・施設実習先で、求められる実習内容や取り組み方が異なる点もあるため、実習の特徴についても詳しく確認する。後期は、実習に向けた具体的事項を学ぶ内容として進める。全体の演習活動と、実習施設の内容に即した個別の演習活動で、適切に実習準備を進める。						
学習成果	L01						
	L02						
	L03	実習に向けた準備を計画的に進め、実習課題を明確にしつつ実習に臨むことができる。					
	L04	実習準備・実習活動共に他者との協調性が求められることを自覚し、協働の喜びと達成感を体感することができる。					
課題に対するフィードバック	問題点が個別のものではなく全体に通じることも多い場合は、全体に向けて理由も加えて解説と説明を行う。実習施設に即した個別の案件等の場合は、必要な情報を整理・確認し、学生にとって問題解決につながる内容を考慮しながら個別指導を行う。						
教科書/参考図書	「保育実習の手引き」(佐野日本大学短期大学)、「幼稚園・保育所・認定こども園実習パーフェクトガイド」(わかば社)、「幼児の思いをつなぐ指導計画の作成と保育の展開(令和3年2月)」(フレーベル館)、「指導と評価に生かす記録(令和3年10月)」(チャイルド本社)						
履修上の留意点やルール等	保育学生としての履修態度を求める。(ガイダンス時に口頭にて説明)。欠席多等履修状況によっては個別面談を行う。事前・事後学習時間の目安は各回 180 分相当とする。						
担当教員の実務経験	実務経験(職種:幼稚園教諭 職歴:通算9年) 現場が望む実習生のあり方を伝え、実践力や必要とされる資質を具体的に指導したい。						

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	保育実習 I と連動した科目であることを意識した実習態度で臨むことを求める。服装、言葉遣い、持参物、課題の提出等を確認しながら、各自が適切な実習計画の基に実習準備を進めていること。				30
レポート/作品	教材研究と実習準備を兼ねた名札、紙芝居の製作をする。紙芝居は乳幼児の年齢を考慮したものであること。			40	
発表	手遊び、紙芝居の発表を行う。人前で明るく堂々と行うことを期待する。				10
小テスト	現場の1日の流れを理解し、実習日誌を書く。書き方を理解し、保育者の意図を読み取って書けると望ましい。			10	
試験					
その他	実習にむけての課題「実習に臨むにあたって」において、適切な文言と表現で課題が明確に記入され、提出期限が守られていること。実習書類の「実習生調書」において、実習準備の必要性に基づいた記載と提出が出来ていること。			10	
<b>合計</b>				60	40

	回数	授業計画
1	授業内容	授業の趣旨・進め方・持参するもの・出席確認・課題等、授業の概要説明
	事前・事後学習	実習とは何かを考えておき、今後の取り組みに意欲を持って臨む。
2	授業内容	実習施設選定に向けて① 実習依頼に関する電話連絡
	事前・事後学習	保育施設の場所と連絡先の確認。言葉遣いの練習をする。
3	授業内容	実習施設選定に向けて② 実習依頼に関する保育施設訪問
	事前・事後学習	実習施設への経路確認。訪問準備をする。
4	授業内容	実習施設選定に向けて③ 実習依頼に関する持参書類の管理
	事前・事後学習	訪問日の日程調整。持参書類の記入と内容を確認する。
5	授業内容	保育実習の意義・実習の種別確認(保育実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ)
	事前・事後学習	実習の手引きを事前に確認する。実習計画の確認をする。
6	授業内容	抗体検査の結果確認と結果表の取り扱い・保管・提示について
	事前・事後学習	抗体検査受診。医療機関における予防接種と検査結果を丁寧に保管する。
7	授業内容	実習に向けての教材研究・作成
	事前・事後学習	実習を意識して名札のイメージ計画を立てる。使用教材の準備や教材研究の継続をする。
8	授業内容	保育実習の意義
	事前・事後学習	保育実習の手引きP2を読む。理論としての講義科目などの復習をする。
9	授業内容	保育実習の実習内容・手遊び発表
	事前・事後学習	テキストP8、P26を読む。求められる実習生の態度を継続する。
10	授業内容	保育実習における人間関係・手遊び発表
	事前・事後学習	言葉と態度によるコミュニケーションの継続をする。
11	授業内容	実習全般においての守秘義務と職業倫理・手遊び発表
	事前・事後学習	テキストP22～23を読む。保育者としての態度を継続する。
12	授業内容	実習生調書記入の注意事項と記入・実習に臨むにあたり課題を明確にする。
	事前・事後学習	顔写真を撮影をする。書類の丁寧な保管をする。
13	授業内容	実習に向けての準備①実習日誌の書き方・1日の日誌を書く
	事前・事後学習	実習に向けての学習を継続する。
14	授業内容	実習に向けての準備②実習日誌の要点と記入の方法について
	事前・事後学習	実習に向けての学習を継続する。
15	授業内容	前期授業のまとめ・夏季休業中の課題(保育教材製作)について
	事前・事後学習	教材研究の継続をする。
16	授業内容	夏季休業中課題の確認～実習に向けての心構えと実習計画の作成
	事前・事後学習	配布書類の確認。配布書類の整理をする。
17	授業内容	実習に向けての具体的準備①実習日誌記入の要点と記入方法について
	事前・事後学習	実習施設の概要と保育内容の調査。実習に向けての学習を継続する。
18	授業内容	実習に向けての具体的準備② 実習オリエンテーション持参書類準備
	事前・事後学習	実習施設の概要と保育内容の調査。実習に向けて学習を継続する。
19	授業内容	実習に向けての具体的準備③ 実習日誌記入の要点と記入方法について
	事前・事後学習	実習施設の概要と保育内容の調査。実習に向けて学習を継続する。
20	授業内容	実習に向けての具体的準備④ 実習日誌記入の要点とまとめの記入について
	事前・事後学習	実習施設の概要と保育内容の調査。実習に向けて学習を継続する。
21	授業内容	実習に向けての具体的準備⑤ 実習日誌記入に向けてのメモの取り方と活用・毎日の振り返りについて
	事前・事後学習	実習施設の概要と保育内容の調査。実習に向けて学習を継続する。
22	授業内容	実習の評価と向き合う① 自己評価と振り返り
	事前・事後学習	日誌を完成させる。日誌の受け取りとお礼状の送付をする。
23	授業内容	実習の評価と向き合う② ふりかえりポスター製作

	<b>事前・事後学習</b>	日誌の確認。ポスターを完成させる。
24	<b>授業内容</b>	実習に向けての具体的準備①施設実習について
	<b>事前・事後学習</b>	実習施設の概要と保育内容の調査。実習に向けて学習を継続する。
25	<b>授業内容</b>	実習に向けての具体的準備②施設実習の日誌の記入方法について
	<b>事前・事後学習</b>	実習施設の概要と保育内容の調査。実習に向けて学習を継続する。
26	<b>授業内容</b>	実習に向けての具体的準備① 保育実習について・実習オリエンテーション持参書類準備・実習に臨んで・実習課題を明確にする
	<b>事前・事後学習</b>	実習施設の概要と保育内容の調査をする。実習に向けて学習を継続する。
27	<b>授業内容</b>	実習に向けての具体的準備② 実習日誌記入の要点と記入方法について
	<b>事前・事後学習</b>	実習施設の概要と保育内容の調査をする。実習に向けて学習を継続する。
28	<b>授業内容</b>	実習に向けての具体的準備③ 指導案の記入方法について
	<b>事前・事後学習</b>	実習施設の概要と保育内容の調査をする。実習に向けて学習を継続する。
29	<b>授業内容</b>	腸内細菌検査の実施と結果の取り扱いについて
	<b>事前・事後学習</b>	体調管理。腸内細菌検査の送付と検査結果の管理をする。
30	<b>授業内容</b>	実習に向けての具体的準備③ 指導案の記入方法・作成について
	<b>事前・事後学習</b>	実習に向けて学習を継続する。配布資料の整理と確認をする。